

科目名	商学概論 A Introduction to Commerce A						
科目担当者	日高 光宣 HIDAKA Mitsunori						
単位数	2	配当年次	1 年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	本講義では、ふだん何気なく利用しているコンビニやスーパーの特性や役割とは何か、そのお店で提供される商品やサービスはどのようにして私たちに届くのか、そして、情報化社会の進展の中で流通業界はどのように変化することが予想されるのか、そういった流通の基本的な流れとしくみ、問題点や変革の方向性などについて議論します。こうした作業を通して、21 世紀に生き残る流通業とは何か、について検討したいと考えています。						
授業の到達目標	<p>① 流通に関する具体的なケースを概観しながら、そこに内在する問題を発見し、そこから理論を考える手がかりを発見できるようにします。</p> <p>② 流通というものの全体像を把握し、現実に行き起きている流通に関する出来事（たとえば、都市型ミニスーパーの誕生や、コンビニとメーカーの共同開発など）を流通論の視点から分析できるようにします。</p>						
授業計画・内容	1	流通の基本的な仕組みについて：基本的な機能と経路					
	2	流通の基本的な仕組みについて：日本の流通の問題点					
	3	小売業の仕組みと役割：小売業の機能とは					
	4	小売業の仕組みと役割：小売業の種類					
	5	流通経路：流通経路の必要性と役割、流通系列化、変化する流通経路政策					
	6	商業集積の論理：商業集積とは					
	7	卸売業と物流システム：卸売業の機能と種類					
	8	卸売業と物流システム：リテールサービス					
	9	卸売業と物流システム：物的流通とロジスティクス					
	10	流通の実務：マーチャндаイジング					
	11	流通の実務：カテゴリーマネジメント					
	12	流通の実務：販売促進の役割と手法					
	13	流通に関する規制や法律					
	14	流通と情報化					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、授業計画の「内容」に示されたテキストや参考書の該当章を熟読し、ノートに整理しておいてください（毎週 2 時間程度）。また、日々の生活において、流通に関する現象を意識して観察しておく、授業の理解がよりスムーズになると思います。						
授業外学修 (事後学修)	毎回の授業内容について要点を整理し、不明な箇所を調べておく（毎週 2 時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験				70%		① ②
	授業中の小テスト				10%		②
2 回の課題提出				20%		①	
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	市原武政・竹村正明著『1 からの流通論』（碩学舎）						
参考文献	適宜、資料コピーを配布します。						
その他							